

こどもたちに胸を張って引き継げる杉並を作りたい

# 松本みつひろ 杉並区議会レポート vol. 21

## 01 9/10(月)一般質問

### 1. NEXT GIGA端末\*について

(1)今年度の調達

\*全国の児童生徒が一人一台のパソコンを活用した学びを進めている「GIGAスクール構想」における、2代目の端末

(2)機能要件とOS

### 2. 公道移管について

動画



質問原稿  
主な答弁



### 3. 学校給食費について

### 4. 区内出身のオリンピック出場選手 に関する区の対応について



杉並区議会議員 保健福祉委員会委員長  
決算特別委員会副委員長  
維新・無所属議員団幹事長

## 松本みつひろ



各SNSにて発信中 /



## 02 9/19(木)

### 保健福祉委員会（委員長として進行）

杉並区子どもの居場所づくり基本方針(素案)の中で、児童館再編の考え方を見直すことが表明されました。今ある25館は全て残し、機能・役割を強化。中学校区に児童館がない地域には、他施設との併設・複合化を前提に児童館を新設。7地域に中高生機能優先館を1つずつ設ける、というもので、児童館を減らしてきた流れから大きな方針転換となり、委員会当日も白熱した議論が繰り広げられました。児童館以外にも、令和9年度までに全小学校で放課後等居場所事業を実施し、学童クラブの入会対象者を絞ることで、学童待機児童ゼロを目指す取組や、日・祝の校庭開放の全校展開を目指す取組などが表明され、さらには公園などの一般区民施設をこどもの目線で再構築することが掲げられました。動画で解説しています→



### プロフィール（2024年10月時点）

1983(昭和58)年9月1日の41歳。埼玉県出身、私立城北高校、早稲田大学法学部を経て、2007年株式会社リクルート入社。2011年に仙台転勤、札幌にも赴任し2016年に転職。カカコム、ソリトンシステムズを経て2019年から杉並区議会議員。現在2期目、維新・無所属議員団幹事長、議会運営委員会理事、保健福祉委員会委員長、DX・議会改革特別委員会、ICT活用検討推進委員会等に所属。

2009年に荻窪に分譲マンションを購入したことがきっかけとなり杉並区民に、2015年に東京に戻って以降も荻窪在住。2012年に結婚した妻、2018年生まれの子の双子の男の子、2022年生まれの子の5人家族。日本維新の会に所属。主な役職として、東京維新の会政務調査会長/日本維新の会広報局、超党派の政策集団「東京若手議員の会」前代表、子どもの事故予防地方議員連盟副幹事長等

## 03 10/1(火)

### DX・議会改革に関する特別委員会

前の定例会の一般質問で詳しく取り上げた、自治体情報システム標準化の全国的な遅れによって、区のワンストップ・ワンズオンリーなオンライン行政手続きに影響が出ていることの指摘や、学習ログの活用による教育DXについて質疑を行いました

## 04 10/2(水)～10/15(火)

### 決算特別委員会（副委員長として進行）

維新・無所属議員団として、令和5年度の全ての決算（一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、後期高齢者医療事業会計）を認定。委員会としても賛成多数で全て認定



松本みつひろ  
事務所

区民相談などのご面会はホームページの「連絡・相談」→「区民相談」から承っています。事務所以外に区役所内での面会や、ご自宅の近隣にも参りますので、場所もご指定下さい。

〒167-0051 杉並区荻窪5-16-7（中央線沿い、セブンイレブン荻窪駅前店隣） 070-9117-2850



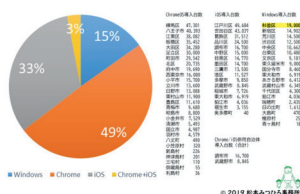


# 01 一般質問



**N**EXT GIGA端末とは、一人一台タブレットを導入して4年が経過し、買い替えのタイミングにあたって導入する端末のことです。それまで使っていた端末で故障が多く発生したため、故障対策の厚いカバーが付いたものが多く販売されており、その結果重くなっていること、それを持ち帰るためにランドセル症候群が懸念される状況であることを指摘しました。また、杉並区では学習用端末にWindowsを採用していますが、東京都内では15%のシェアしかないこと、そのため杉並区に異動してきた教員に慣れるための負担が発生しているのではないかという問題提起や、端末の起動が遅いことなどの問題点を指摘。Windows以外のOSへの変更や、無線LAN環境の構築に多大な費用がかかっていることから、目黒区や豊島区練馬区などのように、児童生徒全員の端末にSIMカードを導入しコスト削減することなどを提案しました。

■端末単位のWindowsシェアは15%



私道寄附に関する合意形成支援や、路上喫煙禁止区域、放置自転車禁止区域の指定について、申請主義を乗り越えて区から働きかけることを提案しましたが、いずれも全否定でした。残念なことではあるのですが、これは予想通りで、区は住民の間に飛び込んで意見調整などをするのが以前から嫌いです。最近「対話の区政」を掲げて、意見聴取を頑張っているのですが、少しだけ変化を期待したのですが…。対話の場に参加した方から、聞いてもらっただけでたただのガス抜きと感じたという話を伺ったことがありましたが、合意形成支援となると聞いていただけにはいかないので、嫌なんでしょうね。残念でした。

**学**校で集めるお金が、校長先生の個人口座などで管理されていて、公金として適切に取扱いされているとはいえ、先生方にもご負担をお掛けしている「私費会計」の状況から「公会計化」していくことに取り組んでいます。杉並区では2023年10月から区立小中学校の学校給食費が無償化されました。これは私の選挙公約でもありましたが、私費会計で無償化するのが正しいのか、委員会の審議の中で悩み、最終的にはそのタイミングで無償化し、それからできる限り早く公会計化していく、ということを宣言して取り組んできました。杉並区は当初、令和8年度試行実施（＝令和9年度本格実施）で公会計化する計画でしたので、それでは遅いと私から区に対し、具体的な公会計化のステップを提案するなどしてきたところです。



9月3日の桃井第二小学校の1年1組で、一番荷物が多かった児童は5.3kgを持ち運んでいました。一年生の平均体重23kgの23%です。53kgに置き換えると12kg、70kgの16kgに相当します。心身の発達に悪影響が懸念される状況です。解決策として提案した、学校からタブレットを持ち帰らず自宅の端末などで学習するという策は否定されてしまいました。別の方法を考えますが、なんとかこの問題を解決しなくてはならないと危機感を持って取り組みます。

学校の無線LAN環境構築にかけてきた費用は、令和元年度からの累計で19億円…児童生徒の全タブレット(約29,000台)にSIMを入れても、ボリュームディスカウントが効くので、年額2億3千万円で収まるそうです。無線LAN環境は教職員が使う校務用や、今後拡大を計画している学校の地域開放などで活用していけば良いと思います。動画教材の活用や生成AIを駆使した教育が行われる可能性を考え、児童生徒のネットワークはSIMにしていきたいです。杉並区のタブレットの故障率は14.7%。iPadは2%程度だそう…



住民情報システム標準化と連携させて公会計化すると、令和8年度試行実施という計画になるのですが、学校給食費については児童生徒からの徴収がないことなどから、標準化と連動させずに公会計することを提案していました。今回の質問に対する答弁で、学校徴収金のうち学校給食費については、徴収管理システムと当初連動させず、令和7年度から本格実施することが答弁されました！



本来はシステムと連携した形でスタートすることが好ましいと考えているのですが、全国の自治体が一斉に進めている住民情報システムの標準化が大幅に遅れていて、コンプライアンス上の懸念のある私費会計を一刻も早く終わることを優先した苦渋の提案でした。前回の議会のメインテーマとして一般質問で取り上げた、住民情報システムの標準化は、そこからの4ヶ月でさらに混迷を深めています。個人的には撤退すべきとまで思っています。



給食費について、渋谷区の「こどもたちの記憶に残る給食」「日本一美味しい渋谷区の学校給食を目指す取組」にも触れました。そのために給食費を35%増やしていることですが、杉並区では管理栄養士さん達のご努力によって、今の給食費で充実した給食が提供できている、ということでした。一方で、「自己負担があってもいいから、もう一品出してほしい」「充実した内容とは思えない」という話もあるようです。保護者の皆さんのお考えを、直接伺えたら嬉しいです！



**公**道移管とは、私道を区に寄付し、公道(区道)として管理することで。私道は所有者が管理するものですが、公道と公道を接続する、通り抜けが可能な私道が、駅周辺の交通量の多い場所にもたくさんあり、管理上の様々な課題を抱えています。例えば放置自転車(自転車所有者がすぐに自転車を移動できない状態にある自転車)の対応について、私道上の放置自転車の場合は①警察を呼んで盗難車か否かを確認②私道管理者が自ら警告札を貼る③廃棄物処理法に基づいて処理する、と非常に手間がかかり、すぐに解決することができません。放置禁止区域に指定されれば、区が即時撤去しますが、私道を放置禁止区域に指定する場合には、私道所有者全員の同意書面を区に提出するなど、負担感のある手続きが必要となります。また、継続的に議会で取り上げてきた路上喫煙についても、駅周辺の区道が路上禁煙地区に指定されているケースがある中、その途中にある私道に路上禁煙地区の指定がされておらず、公衆喫煙場所のように喫煙者が集まってくる現状があり、改善を強く求めました。



「私道は所有者が維持管理する原則なので、区にできることは限定的」と答弁が始まるわけですが、そんなことは最初からわかっているわけで、その前提の中で路上喫煙、歩行喫煙、自転車放置などごく一部の区民の行いによって我慢や負担を強いられている人がいる状況がある、ということも可視化したのですが、区の答弁姿勢は、もはや私道所有者は好き好んで私道持つてるんだろ？くらいの冷淡さだった、という印象を持ちました。私道は道路形状のうちは税金もかからないし、意識して持っているように思って持っている人もいるかもしれませんが、でも、持っているしかないと思いついて、突発的に発生する負担に耐えている人に、寄附して区に管理してもらおう、という選択肢を知ってもらうことは重要だと思います。区は知られたいのかな、と思いました。

私道を所有するメリットとデメリットについて、区の見解を求めたところ、メリットは「不動産として所有すること」「所有権に基づき収益処分ができること」と答弁しました。ですが、駅周辺などに見られる、複数の所有者で一つの道路を構成している私道で、自己所有の私道部分に建物を建設する、ということができないわけもなく、収益処分ができるのはエリアを一体的に開発するなど相当に限定的な場面に限られることを指摘しました。デメリットは「費用面も含め自己責任において維持管理」と答弁されました。このレポートを作成しているタイミングで、自宅の近所でマンホールが割れ、私道所有者が修理を手配していますが、所有者さんの車がそのマンホール部分を通行することはまず考えられない位置です。運送事業者さんや引越事業者さんの車の重みで割れたかなと思うのですが、それでも私道所有者が10万円以上の負担を強いられます。私道を寄附するなどして公道化し、以降区で道路管理を行う「公道移管」や、そのための住民間の合意形成を区として支援すべき！と提案しました。(右上に続きます)

**パ**リオリンピックでは、杉並区内出身の選手の活躍で、期間中区内でも盛り上がっていたと思います。上荻本町通り商店会では、バドミントン混合ダブルスのワタガシベア(渡辺勇大選手、東野有紗選手)を応援するフラッグを掲げるなどし、地域が一体となって応援していました。結果として、2大会連続の銅メダルを獲得されました。おめでとうございます！ところが、このオリンピックの機運醸成について、区民の方から不満の声を伺いました。役所の外壁に垂れ幕(懸垂幕)を垂らす、歩道橋に横断幕を掛ける、といった区有施設を活用したPRを行っている自治体が多い中、杉並区ではそういった対応を行っていませんでした。

機運醸成については、オンライン応援会や区の公式Xでの発信など、様々な手法で行っていた、ということでした。私もインターネット上の発信を重視するくらいがあるので、この件は個人的にも非常に勉強になりました。オンラインでいくらやっても、届かない方はたくさんいらっしゃるし、街を挙げての機運醸成という面では、リアルに対応が大切だということを痛感しました。横断幕は区役所の2階ロビーの手すり部分に設置していましたが、次期オリンピック開催前には今回の意見を参考に、垂れ幕も含め様々な手法で選手の応援や機運の醸成を考えていく、という答弁でした。

その後、10月8日に連絡があり、10月26日に「渡辺勇大選手パリ2024オリンピック祝賀会」を杉並区役所前広場で開催する旨、連絡がありました。今回の質問との因果関係は不明ですが、案内文には「快挙を祝福」とあり、活躍を称える機会が増えた良かったと思います。今後のスポーツイベントにおける盛り上げの弾みになると嬉しいなと思っています。今後は事前の盛り上げも増えていくと嬉しいです！

決算特別委員会では、初めて副委員長を務めました。不慣れなことでご迷惑をお掛けしたこともあったかと思いますが、委員・理事者・議事事務局のおかげで役割を果たせたのではないかと自分で思っています。質疑や意見開陳などはできなかったのですが、維新・無所属議員団としては令和5年度の各会計決算を認定し、令和7年度予算案に向けて数多くの提案を行いました。来年度予算が良いものになりますように！

